



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



## 第3回例会 2021.7.28 (水) (土用の丑の日)

■出席率 会員73名中57名出席78.08% 修正59 80.82%  
メイクアップ2名

### ◆ガバナー公式訪問



志賀ガバナーを迎えて記念写真

### ◆会長挨拶 一條 浩孝 会長

志賀ガバナーと私は2年前、モンゴルで開催された米山学友世界大会で一緒させていただきました。当時ガバナーノミニーでいらっしゃいましたので「大変ですね」と声をお掛けしましたら「いやいや、私一人でやるのではなく、みんなでやるものだと思っているから大丈夫」とおっしゃっていたのが印象的でした。





奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



とはいえ公式訪問だけでも大変お忙しい毎日になるはずですから、時々鰻でも食べながら健康第一でご活躍頂きたいなと思っています。ガバナーには後ほどスピーチをしていただくことになっていますので、よろしく願いいたします。

さて、今日は土用の丑の日です。私のための希望でお食事はうな重とさせていただきました。今年も家族納涼夜間例会を開催することが出来ませんので、せめてお食事だけでも例会で夏を感じていただこう、という思いで提供させていただきました。

お食事、と言えば私にとって忘れられないクラブのエピソードがありますので、ご紹介させていただきます。私が10年前福島南 RC に入会させていただいてすぐの頃、夜間例会がありました。たまたま私の隣には風の谷の高橋さんがお座りになっていました。お話ししてみるとレストランを運営されているということで、これはいいチャンスだと思いまして、その時目の前にあった料理をどう思われるか質問してみました。いろんなウンチクが聞けるんじゃないかと期待したわけです。ところが、その答えは意外なものでした。

「美味しいって思わねがい？料理っていうのはない、作ってる人が不味くなれと思って作ってる人は一人もいねはずなんだよない。それがない、美味しい！って思っていた方が幸せじゃねえがい？」

私は感動して言葉を失いました。決して同業者を悪く言わない、そして自分の捉え方次第で幸せを感じることができる、という考え方。こんなに素晴らしい方が福島南 RC にはいらっしゃるのかと…、そこから私のロータリー人生を始めることができたのはとても幸せなことだったと思っています。

今思えば、高橋さんのこの考え方は、思いやり、奉仕の理念そのものだったのだな、と感じています。私のような卑屈な人間にはなかなか及ばない難しいことなのですが、何とか近づけるよう見習わせていただきたいと思います。と思っています。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



## ◆米山奨学金授与

一條会長から米山奨学生 ウ・シュウレイさんに奨学金が授与されました。

### ウ・シュウレイさんスピーチ

奨学金の授与ありがとうございました。  
先日初めて、福島大学のゼミで松川浦沿岸地区を見学しました。東日本大震災の被災当時の写真と比較し、現地を見学しました。現在の復興の様子に感動しました。中国の人にも自分が感じた感動を伝えたいです。



## ◆県北第一分区ガバナー補佐挨拶 佐藤 宗弘 様



昨年度R Iテーマは、ロータリーは機会の扉を開くでしたが、本年度は、開かれた扉の向こうに駆け出して、みんなの人生を幸せのために奉仕の理念の実践に皆さんと一緒に取り組んでまいりたい。ワクチン投与が進んでいるものの、いまだ新型コロナウイルスの感染拡大が進んでいます。そのような中、可能な限りロータリー活動を推進してまいります。皆さんのご協力をお願いします。



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

◆ガバナースピーチ



国際ロータリー第2530地区

ガバナー 志賀 利彦 様



今年度、RI シェカール・メーターさんの「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」というテーマを頂きました。私と致しましては非常に近年になく分かりやすい、ストレートな、また感動を覚える言葉だと感じます。豊かということは大事です。{豊か}が故に人に奉仕することもできると思うんです。自分の豊かさが無くて、人にできないと私は思っております。そしてロータリーには「ロータリーの力と魔法」というテーマで地区大会に臨みたいと思っております。この言葉は、シェカール・メーターさんの詩の 中の一節を使わせて頂きました。是非、地区大会はリアルで開催したいと思っておりますので、多数のご参加をお願いしたいと思っております。宜しくお願いします。

本日は志賀利彦という人間を知ってもらいたくてお話ししようと自分で決めてまいりました。私は昭和22年7月10日生まれで74歳になります。私の父の名前は志賀誠二郎と言います。父は農家の次男坊で生まれまして、農業を継ぎたいという気持ちは多々あったようですが、当時の日本の制度の中では農家を分けてあげることにはできないので、外に出なさいということで代用教員という道を選んだそうです。そして福島を皮切りに郡山・会津・いわき等々に転勤したそうです。会津で今は亡き母と結婚し、現在私がいるということです。それをずっと続けていけば良かったんですが、当時は父親も教員という道のある一時おきながら、開拓者として働いてみたいということで、いわき市の山の中で果樹園を営みました。私どもが成長すると共に教育のことを考えて町に出ようということで、職を変え



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



て電気工事関係の仕事を始めました。電気工事関係といっても、まだ一般家庭には電気が出始めたばかりということで、コンセント一つもない時代でした。そんな中で工事をしたので、本当に周りの人と助け合って、一家を養っていました。父が56歳、私が26歳の時に胃癌の再発で他界しました。私は父の仕事を受け継ごうという意志に立ちました。ところが父の仕事は、午前中には仕事が終了してしまいます。色々つつてを頼って、父が若い頃活動した会津に母親の実家があり、当時は出稼ぎで日立製作所に入れてあげたそうです。それで日立との付き合いがありまして、日立製作所に仕事を頂戴に行って参りました。日立製作所には私の兄が勤めておりましたので、口利きで流させて頂きました。私の得意なのは、自変電設備と申しまして、家庭用の100Vや200Vではなくて鉄塔を想像してみてください。鉄塔から電気を受けて、100V・200Vの電気に変換します。そういうのをやっている企業です。お陰様で順調に進んで参ったわけですが、若い頃は色々私も野心がございまして、ひよんな出会いで日立製作所OBの方から「筑波秀英学園が開校するのに300名ぐらい生徒を採用しようとしたところ、800数名採用し教室が埋まってしまったので、すぐ増築しなくてはならない」と声が掛かりました。その学校の開校式直前に出会いがありました。生徒と先生のやり取りを見ていて、私もこれは設立してみたいなとお話をしまして、その理事長が「志賀さん、その気があるんだったら応援してもいいよ」と言われました。私を紹介した人間のお兄さんが事務局を務めていて、向こうの理事長さんが「良ければ、あなたの所に出してもいい」と言われ、学校を設立しようと専念しました。ところが県にお願いに行ったところ、それは1995年頃の話ですが、とんでもないという状況で迎えられました。しかし150回近く県庁に通い、最後にはとうとう理解して頂いて5年の月日が経ちました。そんなことで開校することが出来ましたが、学校を設立するのに2年間かかりまして、いわきの実情を見た時に立派な公立高校が沢山ございますが、その中でも私立高校というのは落ちた者が行く所だという程度であるし、当時福島県としては学ぶという指数から言うと、47都道府県中、下から2~3番という順位がずっと続きました。それが何年も続きました。それで設立しようという風に自分もなってきたんです。お陰様で今では県内でも私立高校としての位置づけはなんとか進んできまして、2年連続して東大進学者を輩出することが出来たことは誇りに思っております。進学率は私は県内一ではないかと自負しております。私は教壇に立つ資格はありません。私は高卒であります。ロータリーの友に、「あなたは子どもの頃は何になりたかったですか？」と聞かれたら、「早く働きたい。父親を楽にしてあげたいから」と答えています。私の子どもの頃は1億総生活が苦しかったように思います。働いて父親に楽をさせたいというのは、子ども心にずっと覚えています。小学5年生の時からアルバイトをしていました。最初にやったのは草むしりです。そこからスタートして高校の時にはバイクで牛乳配達をやって、親から1円もお金を貰わず卒業しました。そのくらい働くことに意義があると頑張っ参りました。体力も私はまだまだあるつもりですので、今日一番伝えたかったのは、この色々経験したことを実としてこれからのロータリー活動に活かしながら、少しでも前向きに良い方向に進



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために



めたいという考えでございます。そうは言っても中々メーカーキャップそのものも3回程度しかありません。本当に勉強をしなかった不真面目者でございます。ここ2〜3年は随分人間が変わりました。ロータリーの見る目も変わったのではと自負しております。やはり気遣いが大切だと思っております。こういう人間ですが、1年間どうぞお付き合いのほど宜しくお願いします。

～～本日の食事は大番の鰻でした。～～

◆次回例会 第4回 2021.8.4

- ・誕生祝い・新会員入会式
- ・米山奨学金授与・ロータリーの友の読みどころ
- ・会員スピーチ 宍戸清和会員（ロータリーとの出会い）
- ・会員スピーチ 海老根潤会員（私のお仕事について）